

桜陽高校だより

令和三年度の前半を振り返って

校長 笈川 巧



校訓

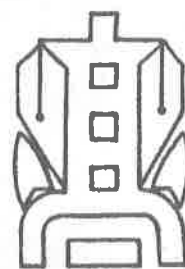
賢く 強く 豊かに

学校教育目標

- (1) 研學に努め、知性を錬磨する。
- (2) 環境を整え、公共心を涵養する。
- (3) 責任を重んじ、道義心を涵養する。

すつきりとした青空が広がった七月九日、三年次生のルスツリゾートへの日帰り遠足を実施しました。見学旅行の代わりとして計画しましたが、帰校してきたバスを見ていた時、実施できて本当によかったとほっとしたことを覚えています。それまでは、ほっとする事よりも、ひやひやする事の方が多かったもので、余計にそう感じたのかもしれない。三月に延期していたトマムリゾートへの見学旅行を、出発直前の占冠村でのクラスター発生を踏まえて中止と決め、体育館で生徒の皆さんに説明した時の重苦しい表情とは違い、バスから降りてきた三年次生たちは明るい笑顔でした。

さて、令和三年度は、四月八日に五クラス二百名の新入生を迎え、全校生徒六三二名でスタートしました。今年の入学式は卒業式と同様に、新入生とご家族から一名の方の出席という形としました。さらに、PTA会長の内藤様、桜陽会（同窓会）会長の稲垣様にもご出席いただき、新入生に対する歓迎と激励のご



目次

- P1 学校長
- P2 1年次
- P3 生徒指導部
- P4 教務部
- P5~8 部活動報告

第103号

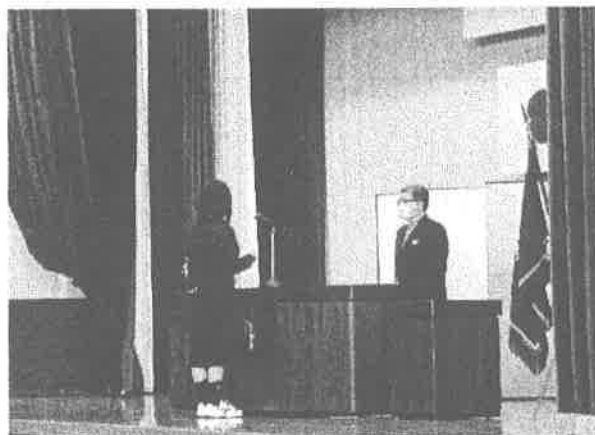
令和3年

9月29日発行

祝辞を寄せていただきました。始業式においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底とコロナ禍を生きていくことの心構えや、他者をいたわることの大切さなどについて話しをしました。四月十三日の新入生のための生徒会・部活動オリエンテーションは、生徒会執行部を中心に、限られた準備時間にも関わらず心のこもったオリエンテーションをつくりあげました。今年は映像も効果的に活用されていましたが、昨年度の体育祭の様子や、各部活動によるダンスリレーなどです。また、新入生歓迎冊子「清水ヶ丘」に掲載された、第七十四代生徒会執行委員長伊藤瑠璃さんの言葉が印象深く、大切なメッセージが込められていると思いましたが、新入生への私からの挨拶の中でも触れたのですが、ここに本人の了承を得て紹介します。

『新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学して新しい場所での新しい生活がこれから待ち受けています。宿泊研修が中止になり、まだまだこの先も油断のできない状況ではありますがぜひ皆さんに最高の青春を謳歌してもらいたいと執行部一同思っております。』

校舎から見える小樽の港町が綺麗な、丘の上の桜陽高校での三年間は中学校の三年間とは違い、驚くほど



不安定な状況の中、私達にできる事は限られています。ですが何が出来ないかを考えるより自分たちの力で何が出来るか、どうしたら特別な三年間を過ごせるかを考えられる高校生になって下さい！

この「清水ヶ丘」は、そんな高校生になるスタートダッシュを切れる一冊になっています。是非活用してください。『また、この挨拶の中に

一瞬です！勉強や部活動に全力で励み、様々な行事を楽しんで一度きりの高校生活を有意義なものにしたいです。

ある「何が出来ないかを考えるより自分たちの力で何が出来るか、どうしたら特別な三年間を過ごせるかを考えられる高校生になつて下さい！」との言葉からは、一年次生でもできることはたくさんある、前向きに行動しようという強いメッセージを感じます。さらに、伊藤さんは、役員選挙の時の演説の中で、「全校生徒は生徒会の一員、みんな一人一人が主役になつてほしい」と訴えて執行委員長に当選しました。この言葉の通り、伊藤さんを初めとする執行部員は、全校生徒には人ごとではなく、自分のこととして、生徒会活動に関わつて欲しいとの思いを持って、生徒会活動に取り組んでいると感じています。

六月二十一日に緊急事態宣言が解除され、分散登校が終了して全員登校が再開となりました。目前に迫っていた7月開催予定の桜陽祭については、生徒会執行部員が長い時間をかけて感染対策等を踏まえた案を作り上げていましたが、限られた時間の中で、道教委の条件をクリアしながら、桜陽祭としてふさわしいものを開催できるか、安心・安全を保障できる企画ができるか、感染対策を全校生徒がきちんとできるように取り組むことができるか、地域の理解を得るための取り組みをすることができるか、等について検討しました。結果として全てをクリアして、大丈夫だよと執行部員の背中を押してあげるのには難しいと判断し、残念ながら桜陽祭は中止としました。八月二十日に夏休みが明けましたが、今後も感染対策を油断なく継続

しながら体育祭や見学旅行などの行事、部活動、進路活動に取り組んでいくことになりました。安心・安全と活動の両立は難しいところもありますが、制約があることに負けないで乗り越えていきましょう。そして一人一人が自ら考えて行動する意識を持ち、一人一人が主役の特別な高校生生活を創り出していきたいでしょう。最後になりますが、悩みや不安が

雑感

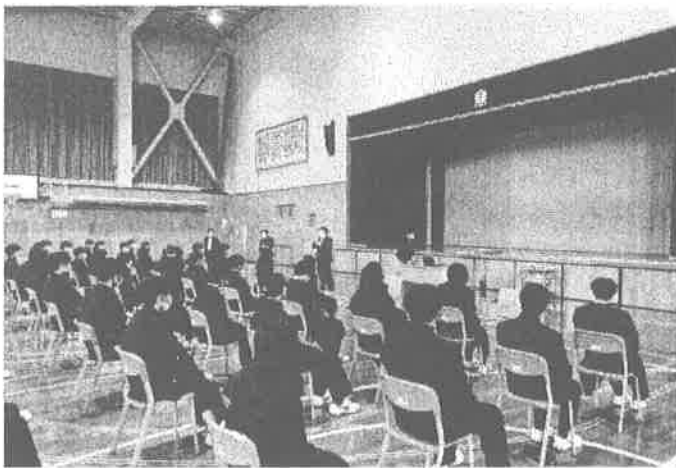
一年次主任 荒井 暁

ある時は、一人で抱え込まないで相談して欲しいと思います。互いに支え合いながら、桜陽高校一丸となつて、前に進んでいきたいと思つております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、併せて、保護者の皆様を初め、桜陽高校に関わる全ての方々のご健康を心よりご祈念申し上げます。

思い返すと、昨年、一斉の休校期間が長かったことを取り戻すべく、本校でも七時間授業など様々な形で授業時間を確保しました。様々な行事がなくなつたことで、思いの外、授業の進度を確保できたことを覚えております。本校を含め様々な学校では、オンラインを利用した学習ツールの確保に努め、それを家庭での学習にうまく利用して、行事や大会がなくなつた悔しさを進路実現に結びつけるような学生らの頑張りも見られた気がします。その結果が成績向上につながつたのでしよう。しかし、勉強だけの学校生活に息苦しさを感じている生徒も少なくなかつたのです。

私が教員になつた二十年以上前の学校現場では、今よりも行事が多く、学習時間の確保、学習内容もルーズでした。その後、ITの広がりなど社会が変化し、社会が学校に求めるものが変わつていきました。行事の精選が進み、学習時間・内容の見直しも行われました。こうして作られてきた、本校を初めとする多くの学校における教育活動は、教科・科目の学習を中心に、様々な行事、部活動などを総合的に有機的に統合したものとなりました。授業、行事、部活動、ボランティア活動etc...。どれも欠けてもうまくいかない、という事実を改めて気づかされました。頭を、体を、心を育むには、いろんな活動が必要で、そこには「奇跡」的なバランスが存在していたのです。

明けない夜はありませんが、明けた世界が別のものになつていくことを祈ります。



ことです。

とも起こります。いつか終わる「コロナ禍」の後に、私たちが新しい世界においても力強く、楽しく、生き生きと人生を送っていききたいもので

生徒指導とは何か

生徒指導部長 古主 正信

す。そのために、今この時を、「雌伏（しふく）の時（力を蓄える時間）」として大切に過ごして欲しいと思います。



今年度に入って、何度か全校生徒に直接話をしたり、担任の先生方にお願いをして話をしてもらったりした。また、各先生方からも様々な話をしてもらっている。「バスの中でマスクを着用していない、大きな声で話をしている、飲食をしている」という苦情だったり、「InstagramやTwitterなどのSNSに個人が特定できる内容のものを載せている者がいる」という注意だったり、「感染症対策、特に、マスク着用、昼食時の黙食」など今では常識となっている感染予防の話だったり、たくさん話をしてきた。生徒指導とはそれらをやめさせる（ルールを守らせる）ことだけが目的ではない。その時に、私はなぜそうしなければいけないのかという話をしようという心がけている。また、「〇〇するな」とか特別指導という話だけが生徒指導ではない。「〇〇することには、こういう意味があるんだ、〇〇する（した）ことって素晴らしいよね」というようないわゆる前向きな声かけをすることも生徒指導ではないかと考えている。

「生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことです。すなわち、生徒指導は、すべての児童生徒のそれぞれの人格のより良い発達を目指すとともに、学校生活がすべての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることを目指しています。」（生徒指導提要より引用）とある。できていないことを指導することもありますが、できていることを褒めたり、もっと良くするための

方法を生徒と一緒に考えたりすることと必要だということだ。そういう視点で考えると、まず生徒へ伝えたい。君たちはみんな素直であると思う。〇〇しなさいと言え、基本的には〇〇しようとする。先生の顔を見たら、慌てる者もいるが。いつも思うことだが、先生たちの目が届かないところ、例えば学校外や学校内でも先生方のいない場所・時間帯などの君の言動はどうだろうか。そこでの振る舞いが君の本当の振る舞いだ。そこで気を配ることができたり、自分勝手な行動を自制したりすることで、他人からの信頼を得ることができるのだ。誰が見ていようがいまいが、大人に言われたことを自分の頭で考えて、色々な場面で実践することが大切なのである。例えば、テスト監督の時にあるクラスでこんなことがあった。私は何も言わなかったのにテスト開始5分前になったら、クラス全員が勉強道具をカバンの中にしまつて準備をしたのである。今までに私は経験したことがない。こちらが言わなければいつまでも勉強をしてテストの準備をしない。しまいなさいと言つてもしまわずに大きな声で注意をするなんてこともあった。私はテスト用紙を配布した後、「君たちは素晴らしい」と褒めた。そのクラスの生徒にとつては当たり前のことであったので、ポカーンとしていたが、「その姿勢をずっと続けて欲しい。」と話したところでチャイムがなりテストが開始された。さあ、君たちは何を思う？ 当たり前のことを当たり前にやることは簡単なことではない。

そんなことに力を注ぎ、規律性や協調性を身につけて本校を卒業して次のステージに行つて欲しいと願っている。

保護者の方へ。上記のように、普段は〇〇するなという話をする機会の方が多くに思いますが、そこは反省するべきだと思いますが、同時に生徒には、規律性や周囲に気を配るなど人として基本的なことを身につけて欲しいと考えています。学校においても指導させていただきますが、ご家庭においても少しでもそんなお話をいただければと思います。また、何か疑問やお困りのことがありましたら、遠慮なく学校へ連絡ください。お子様が、本校を卒業するときに人間的に成長したなあと考えるよう学校としても努力します。どこに行つても可愛がってもらえる生徒を育てていきたいと思つていきますので、ご協力お願いします。最後にありますが、学校生活も一人一人の努力や行動によって成り立っています。新型コロナウイルスが未だ収束も見込めない中で、学校行事等も制限のある中でできることを行つていきます。この生活の中で、今まで以上に周囲に気を配りながら、まずは感染予防を徹底していくことが大切だと思います。ご協力お願いします。



目標を定める意味

教務部長 林 誠



訪れたことのない場所では何の手がかりもなく目的地に時間通りに到着することは可能でしょうか。普通に考えればそれがとても困難なことであることがわかれると思います。

学習することも同じことです。何の目標もなく行っても学んだことが定着することなく時間だけが過ぎていき、成果を残すことができないことが続いていきます。

三年次の皆さんにとっては卒業後の進路を決定する試験等が既に始まっています。具体的に試験までの残り時間を意識して学習、面接練習、小論文を書く練習をできるだけ行ってください。毎年のようにこの時期の受験生は「勉強しているのに成績が上昇しない」という苦しさを経験しますが、それは当たり前のことです。受験直前に努力を全くしない人はいません。誰もが努力しているのです。その状況で成績を上昇させようとするのですから、簡単に伸びるはずがないのです。他の誰よりも努力しているくらいの頑張りが必要なのです。

さて、受験までまだ時間があると

考えている一・二年次の皆さんは毎日何となく過ごしていてもよいのでしょうか。何も考えずに生活している人は一日一日と差をつけられていくことに気がつきません。三年次になって受験の準備を始める時点で大きな差がついており、挽回不可能となってしまうのです。

小さい頃からなりたい職業があるのであれば、その職業に就くために必要な資格、学歴を調べましょう。そして、進学先へ進むために必要となる学習ができていくかどうか、模擬試験などを活用して把握してください。

まだ何も方針が決まっていなくても進学したいと考えているのであれば、大学等のオープンキャンパスや、Webによる案内などを通して進学先に進んだ自分の姿をイメージするところから考えてみるのもよいでしょう。進路先とその学校の受験教科を調べる中で自分の得意教科を中心に学んでいける進学先を選択するという方法もあります。

三年次になつてから進学先を考えても大学進学を実現している先輩はたくさんいると考えている人もいます。確かに進路未決定のまま卒業している人は多くありません。しかし、全員が第一希望への進路実現を果たしたわけではありません。受験勉強を進める中で希望を変更せざるを得なかった人、受験の結果

が思うとおりにならず、第二志望への進学となった人もいます。では、目標を決めて努力することと何となく努力をすることの違いはどこに現れるのでしょうか。

それはやるべきことを具体的にできることです。何となく学習するのではなく、この教科のこの部分、問題集の何ページ分と日々の学習においてやるべきことを具体化して臨むことができることです。そして、目標実現ができるかできないかの距離感をつかむことができる大きな違いです。

一方、目標を定めずに行う学習は自分への甘えが出て、到達点を低い段階にとどめてしまいます。

到達点が低い段階ならばおのずから選択肢が少なくなり、ただ流されるまま進路を選択することとなります。結果、進路先でも意欲的に学んでいくことができなくなってしまうのです。

ただ、目標を定める際に注意しなければならぬ点があります。それは競争相手が全国の範囲であるということです。高校入試であれば後志学区だけが競争の範囲となり、入学試験の倍率も二倍になることはまずありません。

しかし、大学入試では三倍を超える倍率となるのが普通です。高校入試よりも遙かに厳しい試験となるのです。

桜陽高校では文武両道を掲げています。そして、三年次まで部活動に全力で取り組み、そのあと受験勉強を頑張り第一志望を実現した先輩が多くいます。それは、部活動で日々

培った「目標を決めて努力を続ける」ことを、部活動終了後に、学習面につなげることができたからです。

部活動を続けた分、学習中心で頑張ってきた人との成績の差がついてしまった状態で受験勉強が始まります。その差を詰めるため、空いている時間を活用して暗記する学習を行うなど、自分で工夫して学習することができるようになります。その結果、秋の時期から徐々に成績の伸びを実感できるようになり、試験の時期に自分の状態をピークにして目標を実現することができたのです。

終わりに、数年前に桜陽高校を卒業し、大学の看護学科へ進学した先輩が語った言葉を紹介します。

「大学に進んで高校時代自分がどれだけ甘かったか知った。今の方が高校の時より遙かに勉強している。」

次の進学先が決まればそれで終わりではありません。次の目標を定め、努力を続けることが求められるのです。



部活動大会結果

四月〜八月

(文化系)

書道部

高文連後志支部書道展

特選

田中あうり
菅野沙南

美術部

高文連後志支部美術展

全道推薦作品

佳作

松岡愛唯
荒田さくら

放送局

全国高校コンテスト

後志支部大会

ラジオドラマ部門

1位

テレビドキュメント部門

1位

アナウンス部門

細羽 1位
阿部 2位
牧野 3位

朗読部門

園部 4位

佐藤 7位

吉田 9位

神尾 11位

全国高校コンテスト

北海道大会

テレビドキュメント部門

全国大会進出

ラジオドラマ部門

参加

アナウンス部門参加

(細羽・阿部・牧野・園部)

全国高校コンテスト

全国大会

テレビドキュメント部門

準々決勝敗退

(体育系)

弓道部

高体連小樽支部大会

男子団体 2位
女子団体 2位

男子個人

金子 3位

女子個人

柴原 準優勝

高体連全道大会

女子個人

柴原 準決勝敗退

剣道部

高体連小樽支部大会

男子団体

3位

男子個人

杉村

4位

瀬川

大川

予選敗退
予選敗退

サッカー部

小樽支部春季大会

3位

高体連小樽支部大会

1回戦敗退

高体連全道大会

1回戦敗退

選手権大会小樽地区予選会

3位

ソフトボール部

高体連全道大会

1回戦敗退

国体全道予選

1回戦敗退

山岳部

全国LYC(リード)

20位

国体予選(ボルダリング)

優勝

国体スポーツクライミング

北海道代表

柔道部

高体連小樽支部大会

男子個人

66 kg級

嶋田 3位

81 kg級

角間 準優勝

女子個人

52 kg以下級

飯野 優勝

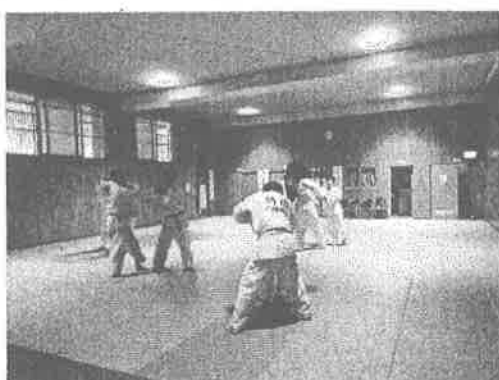
金田 準優勝

52 kg超級

浅見 3位

成田 優勝

上口 準優勝



高体連全道大会

男子個人

66 kg級

嶋田 初戦敗退

90 kg級

角間 初戦敗退

女子個人

48 kg級

飯野 ベスト8

52 kg級

金田 初戦敗退

57 kg級

浅見 初戦敗退

78 kg級超

成田 2回戦敗退

上口 初戦敗退

北海道ジュニア体重別選手権

女子個人

48 kg級

飯野 ベスト8

57 kg級

成田 1回戦敗退

国体全道予選

52kg級 飯野 2回戦敗退
金田 2回戦敗退
浅見 2回戦敗退
57kg級 成田 1回戦敗退
無差別級 上口 1回戦敗退

水泳部

高体連小樽支部大会
50m自由形 菊地 3位
100m自由形 菊地 2位

高体連全道大会

50m自由形 菊地 予選敗退
100m自由形 菊地 予選敗退

ソフトテニス部

小樽支部春季大会

女子団体 3位

高体連小樽支部大会

女子団体 3位

個人男子ダブルス

山口・宇野ペア 準優勝

個人女子ダブルス

予選敗退

高体連全道大会

個人男子ダブルス

山口・宇野ペア 初戦敗退

国体地区予選

個人男子ダブルス
山口・加我ペア 優勝
個人女子ダブルス 予選敗退

国体全道予選

個人男子ダブルス

山口・加我ペア 初戦敗退

新人戦地区大会

女子団体 2位

個人男子ダブルス

優勝

個人女子ダブルス

森・堀井ペア 4位

個人男子シングルス

加我 優勝

山口 2位

個人女子シングルス

藤原 3位

本間 4位

卓球部

小樽支部春季大会

男子ダブルス

和田・安田組 優勝

女子ダブルス

山本愛・山本寧組 3位

田村・三上 ベスト8

男子シングルス

和田 ベスト8

女子シングルス

山本愛 優勝

山本寧 準優勝

田村 3位

高体連小樽支部大会

男子学校対抗 3位

女子学校対抗 優勝

個人

男子ダブルス

和田・安田組 3位

女子ダブルス

山本愛・山本寧組 優勝

田村・三上組 ベスト8

男子シングルス

和田 ベスト8

女子シングルス

山本寧 2位

山本愛 3位

田村 3位

高体連全道大会

女子学校対抗 2回戦敗退

個人女子ダブルス

山本愛・山本寧組 2回戦敗退

個人女子シングルス

田村 1回戦敗退

山本愛 2回戦敗退

山本寧 3回戦敗退



国体地区予選

少年男子シングルス

和田 優勝

安田 準優勝

高橋 3位

今堀 入賞

少年女子シングルス

山本愛 準優勝

田村 3位

山本寧 入賞

国体全道大会

少年男子シングルス

和田 4回戦敗退

高橋 2回戦敗退

今堀 3回戦敗退

安田 3回戦敗退

少年女子シングルス

山本寧 2回戦敗退

山本愛 3回戦敗退

田村 3回戦敗退

小樽卓球選手権大会

ジュニア男子シングルス

和田 優勝

安田 準優勝

高橋 3位

ジュニア女子シングルス

田村 優勝

山本寧 準優勝

男子ダブルス

和田・安田組 3位

女子ダブルス

田村・山本寧組 準優勝

混合ダブルス

和田・山本寧組 ベスト8

ボート部

高体連全道大会

男子シングルスカル

服部 3位

男子ダブルスカル

前山・向井 3位

国体北海道ブロック予選会

少年男子ダブルスカル

前山・服部 2位

少年男子クオドルブル

(北海道選抜)
向井 優勝

国体北海道選抜

向井・服部

テニス部

小樽支部春季大会

個人戦

男子シングルス

優勝

女子シングルス

優勝

男子ダブルス

庄司・大内組 4位

女子ダブルス

細田・西尾組 4位

高体連小樽支部大会

男子団体

3位

女子団体

2位

個人戦

男子シングルス

優勝

山形 3位

庄司・大内組 2位

女子シングルス

細田 2位

高体連全道大会

個人戦

男子シングルス

庄司 1回戦敗退

山形 1回戦敗退

男子ダブルス

庄司・大内組 1回戦敗退

女子シングルス

細田 1回戦敗退

国体地区予選

個人戦

男子シングルス

優勝

山形 3位

女子シングルス

細田 優勝

国体全道予選

個人戦

男子シングルス

庄司 1回戦敗退

山形 1回戦敗退

女子シングルス

細田 1回戦敗退

バスケットボール部

小樽支部春季大会

男子 3位

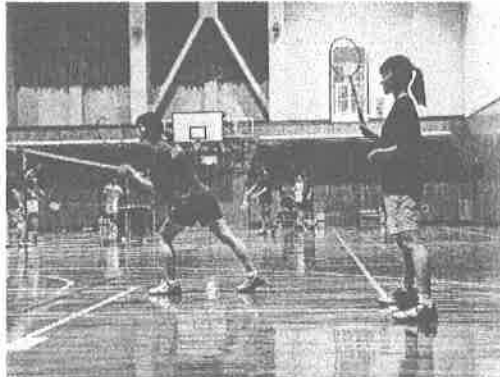
女子 3位

高体連小樽支部大会

男子 準優勝

女子 3位

バドミントン部



小樽支部春季大会

男子団体 3位

女子団体 4位

個人戦

男子シングルス

市川 4位

山瀬 ベスト8

山田 3位

男子ダブルス

佐藤・市川 ベスト8

山瀬・嶋屋 ベスト8

女子ダブルス

葛西・土岐 ベスト8

三間・前田 ベスト8

高体連小樽支部大会

男子団体 3位

女子団体 1回戦敗退

個人戦

男子シングルス

山瀬 ベスト8

市川 ベスト8

男子ダブルス

山瀬・嶋屋 ベスト8

女子ダブルス

三間・前田 ベスト8

小樽地区バドミントン選手権大会

男子ダブルス

市川・嶋屋 準優勝

女子ダブルス

土岐・金田 ベスト8

男子シングルス

市川 優勝

女子シングルス

嶋屋 ベスト8

土岐 ベスト8

北海道バドミントン選手権大会

男子ダブルス

市川・嶋屋 2回戦敗退

男子シングルス

市川・嶋屋 2回戦敗退

男子シングルス

市川・嶋屋 2回戦敗退

市川 2回戦敗退

全日本ジュニア小樽選考会

男子ダブルス

市川・嶋屋

南北海道ブロック出場

男子シングルス

市川

南北海道ブロック出場

全日本ジュニア選考会

(南北海道)

男子ダブルス

市川・嶋屋 1回戦敗退

男子シングルス

市川 1回戦敗退

バレーボール部

小樽支部春季大会

男子 準優勝

女子 準優勝

高体連小樽支部大会

男子 3位

野球部

選手権大会

1回戦 桜陽 6-1 岩内

準決勝 桜陽 25-3 明峰

決勝 桜陽 2-9 双葉

ラグビー部

7人制ラグビーフットボール

小樽支部予選会

桜陽0-29 潮陵

北海道高校選抜ラグビー大会

小樽合同12-26 旭川龍谷

小樽合同0-31 立命館慶祥

北海道高校ラグビー南北

選手権大会小樽支部予選会

桜陽0-50 潮陵

北海道高校合同チーム

ラグビー大会

小樽・札幌 優勝

陸上部

高体連小樽支部大会

男子

5000m	1500m	800m	400m	200m	100m
板橋	木下	葛西	葛西	岡	岡
3位	1位	2位	1位	5位	2位

110m H 佐藤康 1位
400m H 佐藤康 1位
3000m SC 木下 3位
4x100m R 3位
4x400m R 3位
(佐藤康・岡・三宅・八重樫)
三段跳 佐藤楓 3位
砲丸投 土屋 6位
円盤投 中村 3位
ハンマー投 佐藤楓 3位
やり投 中村 2位
八重樫 8位

女子

100m	400m	1000m	4x100m R	4x400m R	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投
日野	竹内	竹内	3位	3位	堀	堀	諸澤	諸澤
4位	3位	3位	3位	3位	3位	3位	2位	2位

高体連全道大会

男子

100m	200m	400m	800m	1500m	5000m	110m H	400m H	3000m SC	4x100m R	4x400m R	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	走り高跳	走り幅跳	少年A男子	成年男子	国体北海道選手選考会
三宅	三宅	三宅	葛西	葛西	板橋	佐藤康	佐藤康	木下	木下	木下	佐藤楓	佐藤楓	諸澤	諸澤	日野	日野	葛西	三宅	三宅
予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	9位	5位	5位

少年A男子 5000m 木下 予選敗退
少年A男子 300m H 佐藤康 予選敗退
少年共通男子 110m JH 佐藤康 予選敗退
少年A女子 走り高跳 日野 3位
少年共通女子 円盤投 堀 予選敗退
少年共通女子 円盤投 諸澤 予選敗退

北海道選手権大会

男子

200m	300m	400m	400m H	3000m SC	走り高跳	走り幅跳
岡	三宅	三宅	佐藤康	木下	日野	日野
予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	予選敗退	13位	13位

新人小樽支部大会

男子

100m	200m	400m	800m	1500m	5000m
岡	齊藤	岡	土屋	板橋	板橋
1位	4位	2位	6位	3位	2位

女子

110m H	400m H	3000m SC	5000m W	4x100m R	4x400m R	三段跳	走り高跳	走り幅跳	円盤投	ハンマー投
佐藤	佐藤	八重樫	木下	木下	木下	山本	山本	日野	日野	諸澤
2位	1位	2位	2位	2位	2位	6位	6位	1位	1位	2位

